

価値創造モデル

京急グループは、事業活動によって、持続的に発展する沿線を実現していきます。それは、社会価値・企業価値双方の向上に寄与すると考えており、「社会の持続的発展への貢献」と「京急グループの持続的発展」のよりよい循環を目指していきます。

INPUT

移動・まち創造プラットフォーム
による事業基盤

- 環境負荷の少ない公共交通事業
- 鉄道・バス等の安全・安定輸送
- 品川・羽田・横浜の
成長トライアングルゾーン
- 都市近郊リゾートみうらの
観光資源・自然環境
- 持続的なまちづくりを推進する
ノウハウ
- 沿線自治体との信頼関係

多様な人財による総合力

- 幅広い事業範囲を持つ
グループ集団
- 多角的事業の展開等による
多様な人財

経営基盤

- 価値創造のための財務基盤・
ガバナンス体制

事業活動

長期ビジョン

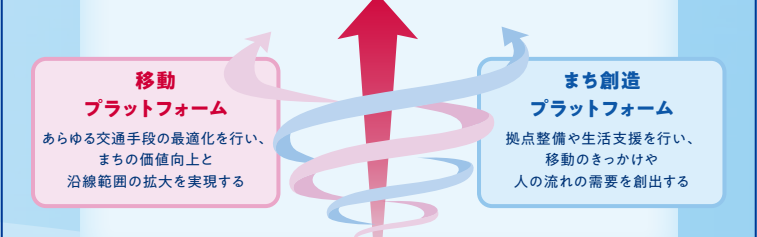
「移動」と「まち創造」
2つのプラットフォームが織りなす
相互価値共創のスパイラルアップにより
持続的に発展する沿線を実現する

サステナビリティ推進方針

社会価値・企業価値向上の推進

沿線価値共創戦略

相互価値共創のスパイラルアップ



経営基盤重点項目

企業価値創出の基盤となる経営資本強化

- 事業構造変革
- 顧客視点の徹底
- 財務マネジメントの強化
- 人的資本経営の推進

OUTPUT

サステナビリティ 重要課題	指標	目標値	達成年度
地球環境 保全への貢献	GHG排出量削減 (Scope1・2)	実質0 △30% (2019年度比)	2050年度 2030年度
	収益原単位廃棄物削減率	△10% (2020~2022年度平均比)	2030年度
安全・快適な サービスの 提供	鉄道運転事故 (有責事故) 件数	0件	毎年
	バス有責死亡事故件数	0件	毎年
	タクシー有責死亡事故件数	0件	毎年
	マリナー重大事故件数	0件	毎年
	駅構内・電車内の快適性 (当社実施調査による評価)	7.0Pt	2026年度
持続的に 発展する 沿線まちづくり の実現	沿線定住人口	モニタリング	—
	沿線交流人口	モニタリング	—
全ての人が 活躍できる 企業風土の 形成	従業員エンゲージメント	継続的向上	毎年
	女性管理職比率	10%以上	2026年度
	育児休暇取得率	100%	2026年度
	障がい者雇用比率	法定基準以上	毎年
社会と京急 グループの 発展のための 経営基盤 強化	労働者男女の賃金差異	モニタリング	—
	重大有責危機事象発生件数	0件	毎年
	社外取締役比率	1/3以上	毎年
	投資家面談実施回数	100件以上	毎年
	お客さまからの問合せ対応率	90%以上	毎年

財務指標	営業利益	350億円	2026年度
	純有利子負債／EBITDA倍率	7倍台以下	2026年度
	ROE	6%以上	2026年度

OUTCOME

「社会の持続的発展への貢献」と
「京急グループの持続的発展」の
よりよい循環を通じて
社会価値・企業価値の向上を目指す

